

| | | | | | | |
|---|------------------|----------|------|-------|--------|--|
| 登録コード | A3207200 | 県内大学開放授業 | | | 市民開放授業 | |
| 授業科目 | 動物栄養学 | | | 担当教員 | 上野 豊 | |
| 英文授業名 | Animal Nutrition | | | | | |
| 単位数 | 2 | 講義期間 | 前期 | 曜日・時限 | 月曜・1時限 | 対象学生 |
| 講義室 | 農学部30番講義室 | | 授業形態 | 講義 | 備考 | 動物資源生命科学コース、植物資源科学コース、森林・環境生命科学コース 2年生、生命科学科学コース 3年生 |
| <p>(1)授業のねらい 授業で得られる「学位授与の方針」要素 ・地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している ・動物の生命現象ならびに動物関連産業に関わる基礎学力を有している。 【授業の達成目標】 【授業のねらい】 (到達目標) 1. 農学に関する広い知識、および家畜栄養学に関する専門的な知識を修得できるようになる。 2. 栄養学研究に関わる科学性、実践性、独創性および倫理性を理解できるようになる。 3. 農学の進展に対応し、畜産業およびその関連産業に貢献し得る基礎的能力を修得できるようになる。 4. 畜産環境問題に対する意識が高く、その対策に関する広い基礎的知識を修得できるようになる。 上記の項目について実現できていることを標準的な達成レベルとする。 上記の項目について十分に実現でき、さらに応用する力があることを理想的な達成レベルとする。 (テーマ) 家畜家禽による乳、肉、卵の生産、実験動物の生産、コンパニオンアニマルの飼育、野生動物の保護を含む生産的観点からの動物栄養学を主題とする。</p> <p>(2)授業の概要 前半(1回～7回)で各種栄養素の化学、消化と吸収について解説し、8回目に達成度確認のための中間試験を実施する。後半(9～15回)に各種栄養素の代謝、栄養素の評価法、代表的な家畜の栄養学について解説し、最後に期末試験を実施する。 ***この授業では、担当教員が動物栄養学の実務経験を活かして講義を行います***</p> <p>(3)授業計画 第1回：概説・栄養素の化学1(タンパク質とアミノ酸の概要) 第2回：栄養素の化学2(炭水化物の概要) 第3回：栄養素の化学3(脂質と脂肪酸の概要) 第4回：栄養素の化学4(ビタミンとミネラルの概要) 第5回：消化と吸収1(消化管の構造と機能、栄養素消化機構の概要) 第6回：消化と吸収2(消化管の微細構造と機能、栄養素吸収機構の概要) 第7回：前半のまとめ 第8回：中間試験・栄養素の代謝1(タンパク質とアミノ酸の代謝に関する概要) 第9回：栄養素の代謝2(エネルギー代謝に関する概要) 第10回：栄養価の評価(消化率の測定方法、定量方法/エネルギーとタンパク質の評価方法の概要) 第11回：単胃動物の栄養学(1)(栄養素の消化吸収利用に関する雑食動物・草食動物の特徴) 第12回：単胃動物の栄養学(2)(栄養素の消化吸収利用に関する伴侶動物の特徴) 第13回：反芻動物の栄養学(栄養素の消化吸収利用に関するウシの特徴) 第14回：家禽の栄養学(栄養素の消化吸収利用に関するニワトリの特徴) 第15回：後半のまとめ 定期試験 *第15回授業の最後に、授業アンケート回答の時間を設けます。</p> <p>(4)自主学習の指針 自主学習を通じて、自分自身の日常生活も含め、動物が行う複雑な生命活動への関心を高めていくことが望ましい。</p> <p>(5)成績評価の基準 次の評価基準に基づき成績評価を行う。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある 可：授業の達成目標の水準にある 不可：授業の達成目標の水準より下にある</p> <p>(6)事前事後学習の内容 【事前学習】2回目以降、各回授業の前日までに、e-alps等で資料配布を行う。また、授業内容に関連する動画をあらかじめ視聴して授業に臨むよう求めることもある。 【事後学習】毎回の授業内容について、教科書の該当箇所や配布資料・動画を参考に行うこと。</p> <p>(7)テストやレポートの予定 毎回の授業で小テストまたはレポートを行う。 中間試験(筆記試験)及び期末試験(筆記試験)を実施する。中間試験までの7回の授業のうち3回以上、期末試験までの15回の授業(中間試験を含む)のうち6回以上欠席した場合は、それぞれの試験の受験を認めないので注意すること。</p> <p>(8)成績評価の方法 授業態度と小テスト40%、中間試験30%、期末試験30%で評価する。小テストは標準的な達成レベル、中間試験と期末試験は理想的な達成レベルを最高点として難易度を設定して行う。</p> <p>(9)質問、相談への対応および連絡先 授業時の対応を原則とする。または、連絡先へ電子メールによる問い合わせとする。 連絡先 上野 豊 ytkuyeno@shinshu-u.ac.jp</p> <p>(10)履修上の注意 特になし</p> <p>【教科書】 動物の栄養 第二版(唐澤豊、菅原邦生編,文永堂) 【参考書】 授業時間中に適宜指示する。</p> | | | | | | |